

あの人の元気をもらいたい!

12... 読む処方箋。

- 勝利だけでなく、生きる喜びのために。
 13... 今、本当のテニスを楽しんでいます。
 クルム伊達公子さん
 子育ても花も「昨日できなかったことが、今日できる」。
 16... それが、すごく楽しい。
 長瀬悦子さん
 現代美術から演劇へ。思わぬところで
 18... 様々なぶつかり合いがある演劇に惹かれる。
 やなぎみわさん
- 20... 人を癒やし、励ます、声と歌。
 市原悦子さん
- 26... 大変だけどやめられない、自然の中で生きていくこと。
 子どもの精神発達の流れを知れば、
 30... ムダに叱ったりイライラしない。
 内田春菊さんと北原みのりさんが考える
 34... 女も男もしあわせになるセックスなんてあるの?
 57... すてきです、歳を重ねて魅力を増す男たち。
 57... 堤真一さん 60... 古田新太さん
 62... 國村隼さん 64... 遠藤憲一さん
- 66... 私を元気にしてくれる、とっておきのフレーズ。

第2特集

- 46... 他人事ではありません、
 心の健康を考えてみませんか。
 46... もしものときに戸惑わないための基礎知識をわかりやすく解説。
 52... 心の健康を損ねた時、回復への選択肢はいろいろあります。

- 5... あなたに伝えたい 346 梶原千沙都さん
 7... 長尾智子 素材の出会いもの。 9
 9... 原由美子 おしゃれの視点 267
 11... 使えるものを求めて暮らしの足し引き 39 文・平松洋子
 39... 美しき日本の手技 267 文・ひびのこづえ
 41... 手みやげをひとつ 267 木村多江さん
 45... 今これ、治せるかも。 15「LOH症候群①」 文・及川夕子
 56... 女の新聞 暮らしと社会
 Fashion
 70... 旅をテーマに、新鮮なおしゃれを。
 81... 女の新聞 介護
 82... わたしきのうきょうあした 267 森山開次さん
 86... croissant culture
 86... MUSIC TOPICS 88... BOOK 89... CINEMA
 90... ART 91... MUSIC 92... STAGE
 92... 次号予告 884号の特集
 清々しい肌、清々しい生活。
 96... 高峰秀子の引き出し 15 文・斎藤明美
 98... 着物の時間 392 井戸理恵子さん
 101... クロワッサン美容部 肌のつぶやき 19
 103... クロワッサン美容部 倉田真由美の「最新私的コスメ図鑑」 56
 106... いつだって、韓国に夢中。 57 チソンさん
 108... クロワッサン倶楽部
 117... バックナンバーのご案内
 119... クロワッサン定期購読のお知らせ
 「クロワッサンの店」情報
 120... 使うことが楽しいアイテムで、無理なく続けるエイジケア。
 124... ビジネスサマ便利 13 文・原田マハ

- 76... いくつになってもおしゃれが好き 19
 94... 「キッズ代表になってブラジルに行こう!」ツアーレポート
 ブラジルの地で目にした、わが子の成長と夢への第一歩!

●@マガジンハウス 2014 禁・無断転載 ●印刷・株式会社千代田プリントメディア
 ●アートディレクション...樋口かずみ
 ●デザイン...藤田恭子 Concent,Inc.(小島節子 中西麻実 本間有未)
 ●マガジンハウスの出版情報は、ホームページ「マガジンワールド」をご覧ください。
<http://magazineworld.jp/croissant/>
 ●本誌編集ページに掲載されている商品の価格は、原則的に本体のみ(税抜き)の価格です。

あなたに 346
 伝えたい

ヘルマンハープで音楽の世界にバリアフリーを実現します。 梶原千沙都さん かじわら・ちさと 日本ヘルマンハープ振興会会長、演奏家



撮影・武方賢治 文・井上大典

「ドイツの教会でヘルマンハープのコンサートを初めて聴いたとき、これこそバリアフリーだと直感しました。そして、この楽器があれば人生が変わる人が日本にもたくさんいる、と思ったんです」

ヘルマンハープは27年前、ドイツ人のヘルマン・フェーさんが、ダウン症の息子のために開発・製作した楽器。ドイツ、スイス、オーストリアなどで、ごく一部の人が楽しんでいただけだったが、梶原さんはフェーさんを説得して日本での普及活動を認めてもらった。さらに、ドイツにもなかった奏法や指導法を確立し、教則本まで書いた。「ヨーロッパで子育てをしながら暮らしているときに出会いました。もともとは音楽の専門家ではありませんでしたが、情熱を持って何かに取り組めば、思いもかけない力が発揮できることを実感しました」

ヘルマンハープには専用の楽譜を使う。弦の下に置いてその指示どおりに弾けばいい。五線譜が読めなくても、楽器の経験がなくても、知的障がいがあっても、子どもでも高齢者でも、誰でも簡単に始められる。「ほかの楽器と違って、弾く人が一番いい音を聴ける構造になっているのも特徴ですね。それに、始めやすいけれど音楽性は高く、奥が深い。コンサートにも充分使える楽器です。ぜひ一度触れてみて、音色を確かめてみてください。バリアフリーの楽器ということがよくわかると思います」